

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月23日 更新

事務事業名		水援隊活動事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	野口 政浩
	施策	20	水の安定供給と排水の浄化			所属課	環境衛生課	担当者名	橋本 育将
	施策の柱	61	排水の浄化			所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10209	根拠法令	合志市の河川を美しくする条例	
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		
								成果優先度評価結果	⑫
								コスト削減優先度評価結果	⑥

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成4年、合志市の河川を美しくする条例の施行に伴い開始した。水援隊員による河川の水質及び河川環境の監視、水援隊会議、水援隊研修を実施している。
【業務の流れ】	水質検査、測定結果の公表、開催通知、会議の開催、研修会参加、年報酬・費用弁償の支払い事務
【主な予算費目】	報酬、旅費、需用費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
水援隊による河川の水質及び河川環境の監視水援隊会議、水援隊研修の参加、会議開催通知、会議の開催水質検査、測定結果の公表、研修会参加、年報酬・費用弁償の支払い事務、会議開催回数 2回		水援隊による河川の水質及び河川環境の監視水援隊会議、水援隊研修の参加、会議開催通知、会議の開催水質検査、測定結果の公表、研修会参加、年報酬・費用弁償の支払い事務などを行う。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 会議開催等回数	回		
→ イ:			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内の河川	本	→ ア: 河川数	
		→ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
河川の監視を行なう(汚染を防止する)	回	→ ア: 河川の事故数	
		→ イ:	
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
河川の事故が発生しないことが重要であり、成果指標を「河川の事故数」とし、目標値を「0回」と設定した。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	ア	回	2	2	2	2	2	2	2	2
	イ									
② 対象指標	ア	本	4	4	4	4	4	4	4	4
	イ									
③ 成果指標	ア	回	1	1	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	310	315	342	336	342	342	342
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	310	315	342	336	342	342	342
		(A)のうち指定経費	千円	250	250	250	250	250	250	250
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち臨時職員	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	4	0	5	4	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	110	0	250	110	250	250	250
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	438	0	996	0	996	996	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	748	315	1,338	336	1,338	1,338	342

事務事業名	水援隊活動事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した 河川に関する事故等は発生しなかった ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 目標値は「河川の事故数」としているが、予測困難な面もあるが事故が発生しないことが重要であり目標達成に努める。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 河川の監視・事故の現状に関しての研修等は、職員の知識向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 条例で定められた報酬額である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 会議開催通知・会議資料作成・会議開催に伴う事務であり削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市内の全ての河川を対象としており、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 会議開催通知・会議資料作成・会議開催に伴う事務であり適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

平成28年度は、水援隊員による河川の水質検査等を実施し河川環境の監視に努めた。また、水援隊員研修への参加、会議を開催した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止
☐休止
☐目的再設定
☐事業統廃合・連携
☐事業のやり方改善（有効性改善）
☐事業のやり方改善（効率性改善）
☐事業のやり方改善（公平性改善）
☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

現状を維持し、河川の水質管理を図る。

(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

合志市